

多目的 FD 透視診断システム

『LUMINOS Session』を導入しました



平成30年12月に、シーメンス社製多目的FD透視診断システム「LUMINOUS Session」を導入しました。

胃透視検査や注腸検査などで利用されてきたX線透視診断装置は、消化管検査を中心に行われてきましたが、近年は整形領域をはじめ内視鏡検査へも利用が拡大しています。本装置は、多目的用途に適した大視野（17x17インチ）平面検出器（FD）を搭載しており、広いエリアを一度に確認することができ、腸管全体や尿路系を1画面上で描出することが可能です。

また、術者が患者テーブルに近づきやすい構造、周辺機器を最小化することで検査室内のスペースを有効活用でき検査をスムーズに行える環境が整いました。検査をスムーズに進めることで、患者様にとっても時間的・身体的な検査負担を軽減することに繋がられます。

他にも、本装置は低被ばく機能を搭載し、以前より少ないX線量での検査が可能となります。また検査における被ばく状況の管理もおこなえ、安心して検査を受けていただけます。